



最初にお読みください

CentreCOM® AR550Sリリースノート

この度は、CentreCOM AR550Sをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（J613-M0710-00 Rev.B）とコマンドリファレンス（J613-M0710-03 Rev.C）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.8.1-05

2 重要：バージョンアップ時の注意事項

本製品を正常にご利用いただくために、最新のブートファームウェアへのアップデートを行ってください。

- 本製品の最新ブートファームウェアは、弊社 Web ページに掲載されています。
- ブートファームウェアのバージョンアップ方法の詳細は、「ブートファームウェアバージョンアップ手順書」（弊社 Web ページに掲載）を参照してください。
- ご使用いただいている本体のブートファームウェアは、SHOW SYSTEM コマンド実行時に表示される「Boot Image」の欄で確認できます。

以前のバージョンから、ソフトウェアバージョン 2.8.1-05 にバージョンアップするときは、以下の点にご注意ください。

- セットアップツールによるバージョンアップ完了後、コンソールからログインして、以下のコマンドを実行してください。

```
set install=pref gui=5528105j.rsc
```

3 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 2.8.1-02 から 2.8.1-05 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

3.1 Port Restricted Cone NAT

 **「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」**

Port Restricted Cone NAT をサポートしました。

設定は、ADD FIREWALL POLICY NAT コマンドの NAT パラメーターに ENAPT を指定します。

3.2 TLS で暗号化された FTP 転送に対するファイアウォール機能の拡張

 **「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」**

ファイアウォール使用時、TLS にて暗号化された FTP データを転送できるように機能を拡張しました。

4 本バージョンで仕様変更された項目

ファームウェアバージョン 2.8.1-02 から 2.8.1-05 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が仕様変更されました。

4.1 IP

 **「コマンドリファレンス」 / 「IP」**

パケット転送時、IP checksum に 0xFFFF を使用しないよう、仕様を変更しました。

5 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 2.8.1-02 から 2.8.1-05 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 5.1 Ethernet ポートがリンクダウンしているにも関わらず、SHOW INTERFACE=ETH0/ETH1 コマンドにてインターフェースの帯域幅の値が表示されていましたが、これを修正しました。
- 5.2 アイドルタイマーが OFF に設定されている場合、ISDN 経由での PPP 接続に失敗していましたが、これを修正しました。
- 5.3 PPPoE において、網側から PADT を受信した場合に、PADI を送信しませんでした。これを修正しました。(本項目は、前バージョン 2.8.1-02 で修正されています。)
- 5.4 PPPoE の LAN 型払い出しの構成において、PPP インターフェース宛の PING に対して、LAN 側の IP アドレスを送信元アドレスとして応答していましたが、これを修正しました。(本項目は、前バージョン 2.8.1-02 で修正されています。)
- 5.5 PING コマンドの TIMEOUT パラメーターの指定範囲に不正な値を表示していましたが、これを修正しました。TIMEOUT パラメーターに指定可能な値の範囲は 1 ~ 60 です。
- 5.6 IPv6 において、宛先への経路が複数存在する場合に経路表の更新処理が正しく行われなかったことがありましたが、これを修正しました。
- 5.7 ADD IPV6 PREFIX コマンドを、IPv6 インターフェースと同じ IPv6 アドレス / プレフィックス長を指定して実行した場合、再起動後の設定に反映されませんでした。これを修正しました。
- 5.8 (PIM-SM) DR でないインターフェースにおいて、マルチキャストグループが登録されている状態で IGMP Report を受信すると、PIM Join メッセージを送信していましたが、これを修正しました。

- 5.9 (PIM-SM) ランデブーポイントルーターとして動作した場合に、Resister メッセージに対して Stop メッセージを返信していませんでしたが、これを修正しました。
- 5.10 ファイアウォール有効時、3wayhandshake 完了後、データ転送が行われないセッションを未確立セッションとカウントしていましたが、これを修正しました。
- 5.11 ファイアウォールとローカル IP インターフェースを併用した場合、ローカル IP インターフェース宛での通信が行えませんでした、これを修正しました。
- 5.12 SHOW FIREWALL EVENT コマンドにて表示されるイベント数に誤りがありましたが、これを修正しました。
- 5.13 10Mbps 環境にて QoS を使用した際、遅延が発生する場合がありますが、これを修正しました。
- 5.14 VPN 使用時、Path MTU Discovery によって通知される MTU 値が不正な場合がありますが、これを修正しました。
- 5.15 SNMP 使用時、一時的に若干スループットが低下する場合がありますが、これを修正しました。

6 本バージョンでの制限事項・注意事項

ファームウェアバージョン 2.8.1-05 には、以下の制限事項や注意事項があります。

6.1 グラフィカル・ユーザー・インターフェース (Web GUI)



「取扱説明書」 / 「付録」 / 「Web GUI」

- GUI 画面ではマルチバイト文字を入力しないでください。入力してもエラーメッセージは表示されませんのでご注意ください。
- GUI 画面では LAN 側インターフェース (vlan1) の IP アドレスを異なるサブネットの IP アドレスに変更しないでください。変更すると GUI に再接続できなくなることがあります。接続できなくなったときは、ルーターを再起動して変更前の IP アドレスに接続しなおすか、約 10 分待ってから変更後の IP アドレスに接続しなおしてください。
- 「クイックスタート」→「WAN」画面の「DNS リレーを使用する」にチェックを付けたときは、DNS サーバーのアドレスも入力してください。アドレスが未入力でもエラーメッセージは表示されませんのでご注意ください。
- 「クイックスタート」→「WAN」画面で PPPoE 接続の設定をすると、PPPoE インターフェースのリンク状態監視方式が「LQR」(Link Quality Reporting) になります。この設定では、インターネットサービスプロバイダー (ISP) 側の機器が LQR をサポートしていない場合にリンクダウンを検出できず、PPPoE の自動再接続機能が働きませんので、「設定」→「レイヤー 2」→「PPP」画面で「リンク状態の監視」方式を「Echo」(LCP Echo) に変更してください。

7 コマンドリファレンスの補足・誤記訂正

コマンドリファレンス (J613-M0710-03 Rev.C) の補足および誤記訂正です。

7.1 PING コマンド

 [「コマンドリファレンス」 / 「IP」](#)

PING コマンドの TIMEOUT パラメーターの指定範囲が [TIMEOUT=0..65535] と記載されていますが、正しくは、[TIMEOUT=1..60] となります。訂正してお詫びします。

7.2 RESET WANLB RESOURCE コマンド

 [「コマンドリファレンス」 / 「WAN ロードバランス」](#)

インターフェースを WAN ロードバランスの対象から無効とした状態で RESET WANLB RESOURCE コマンドを実行すると、該当インターフェースが WAN ロードバランスの対象として有効になります。

7.3 SET IPSEC BUNDLESPECIFICATION コマンド

 [「コマンドリファレンス」 / 「IPsec」](#)

SET IPSEC BUNDLESPECIFICATION コマンドの EXPIRYKBYTES パラメーターの指定範囲は [EXPIRYKBYTES=1..2000000000] と記載されていますが、バージョン 2.8.1-02 以降、最大値が 4193280 に変更されました。

最大値を超えて指定した場合、4193280 が設定されます。

8 取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書 (J613-M0710-00 Rev.B) とコマンドリファレンス (J613-M0710-03 Rev.C) は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書、コマンドリファレンスが上記のものではない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※ パーツナンバー「J613-M0710-03 Rev.C」は、コマンドリファレンスの全ページ (左下) に入っています。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>